

卒業プロジェクト公開プレゼンテーション 閉会挨拶（保井俊之学部長）

本日は叡啓大学の初めての卒業プロジェクト公開プレゼンテーションにご参加いただき、誠にありがとうございました。

卒業プロジェクトが開始され、本日のプレゼンテーションに至るまで、参加学生の情熱と真摯な学びの実践、そして教職員の皆様の献身的な支援がありました。特に、プライマリアドバイザー及びセカンダリアドバイザーの先生方が、卓越した指導と助言をもって伴走してくださったことは、学生たちの探究を深化させる大きな力となりました。加えて、叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会の関係者の方々及び外部評価者の皆様の貴重なご助言が、学生たちの創造力をさらに引き出してくださいました。この場をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

そして、本日ここに立つ一期生の皆さん。皆さんは「未来をつくる仲間と出会う」という本学の理念のもと、知の学修と実践のスパイラルを回し続け、システム思考とデザイン思考を統合しながら、ソーシャルシステムデザインの方法論を修得し、それに基づくマイプロジェクトを実装してこられました。その集大成として、本日の発表は、まさに知の統合と協創の結実であり、社会に開かれた学びの新たな地平を示すものとなりました。

各自が社会課題と真摯に向き合い、独自の視点と鋭い洞察をもってソリューションを提示する姿に、私は深い感銘を受けました。ポスター発表における緻密な分析、口頭プレゼンテーションでの力強い構想、それらすべてが、新しい時代を築く学びのモデルを体現するものとなりました。

皆さんは、まもなく実社会に飛び立ちます。そして、ここで培った問立てと協創の力を携え、それぞれの立場で、この地球上のさまざまな場所から、社会の新しい仕組みのデザインと社会実装を続けていくことでしょう。それは、社会の仕組みをよい方向へ変革し、ひとと地域、そして地球のウェルビーイングを実現する果敢な挑戦となります。

本日は、その記念碑的な第一歩です。この学びの軌跡は、皆さん自身の未来を拓くだけでなく、次に続く多くの叡啓大学生にとっての何よりの道標ともなるでしょう。

一期生の皆さん、皆さんは叡啓大学の歴史に、新たな扉を開きました。これからも、学びを止めることなく、思考し、協創し、行動し続けてください。皆さんの知が社会を変え、未来を拓く力となることを、私は確信しております。

本日は誠にありがとうございました。